



令和6年度

こと はじめ

予算事始

さがみはらの予算をわかりやすく解説します

contents

- P 2 予算の基礎知識
- P 4 歳入（1年間の市の収入）
- P 6 歳出（1年間の市の支出）
- P 8 令和6年度 相模原市の主な取組
- P10 相模原市財政状況
- P12 行財政構造改革プラン
- P15 相模原家の家計簿
- P16 宝くじ情報
- P17 寄附金制度のご案内



相模原市マスコットキャラクター

さがみん

さがみはら



ともに築きよう! Together in Harmony

予算の基礎知識

それではまずはじめに、
基本的な疑問にお答えしましょう。
予算とはどういうものなのでしょうか？

Q 予算って何？

A 予算とは、1年間の収入と支出を見積もることです。

どんな収入がいくら入ってきて、そのお金をどんな仕事にいくら使うのか、あらかじめ決めておく必要があります。

予算(収入と支出の計画)

収入(歳入)	支出(歳出)
・市税 ・使用料 ・国庫補助金 など	・福祉 ・教育 ・消防 など



Q 予算ってどうやって決めるの？

A 市長がつくった予算案が市議会の議決によって
予算として成立します。

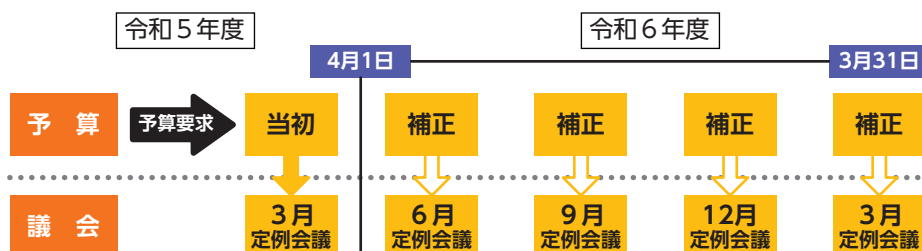
皆さんにより良い生活を送っていただくために何をしたら良いか、そのためにどのくらいのお金が必要なのかなどを検討し、予算案を作成します。

その予算案は、市民を代表する市議会議員で構成される市議会に提出し、内容の審査を経た後に、市議会の議決を受けてはじめて予算が決まります。

Q 予定外のお金が必要になったときは？

A 予定外の支出に必要な予算を補正予算として見積もり、
市議会へ提出します。

「補正予算」は必要に応じて何度でも編成することができますが、「当初予算」と同じように、市議会に提出された予算案が市議会の議決を受けてはじめて、予算が決まります。



- ①収入のことを「歳入」、支出のことを「歳出」といいます。
- ②最初に決める1年間の予算を「当初予算」、年度の途中で予定外の支出等に対応する予算を「補正予算」といいます。



Q

令和6年度の相模原市の予算はどのくらい？

A

一般会計、特別会計、公営企業会計のすべての会計をあわせると、約5,782億円になります。

一般会計

3,415億円

子育て、福祉、教育、道路整備などの基本的な行政サービスを行うための会計です。

特別会計

約2,036億円

特定の目的のための会計で、国民健康保険や介護保険など、9つの特別会計があります。

国民健康保険事業
介護保険事業
母子父子寡婦福祉資金貸付事業

後期高齢者医療事業
麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業
自動車駐車場事業

公共用地先行取得事業
財産区
公債管理

※特別会計予算額は9つの特別会計の合計額

公営企業会計

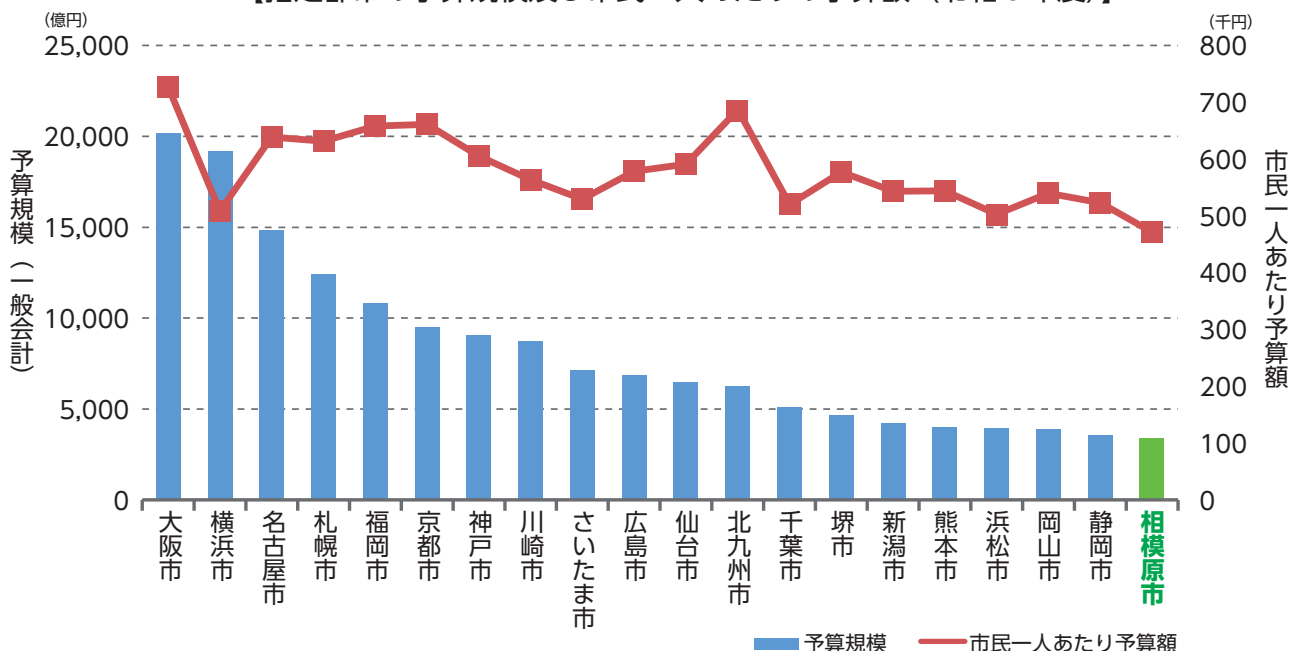
約331億円

市が運営する企業の会計で、下水道、簡易水道があります。

下水道事業 簡易水道事業 ※公営企業会計予算額は2つの公営企業会計の合計額

※予算額は億円未満を四捨五入

【指定都市の予算規模及び市民一人あたりの予算額（令和6年度）】



※市民一人あたりの予算額は、令和6年2月1日現在の「推計人口」から算出しています。



指定都市の中では、最も小さい予算規模です。

歳入

1年間の市の収入

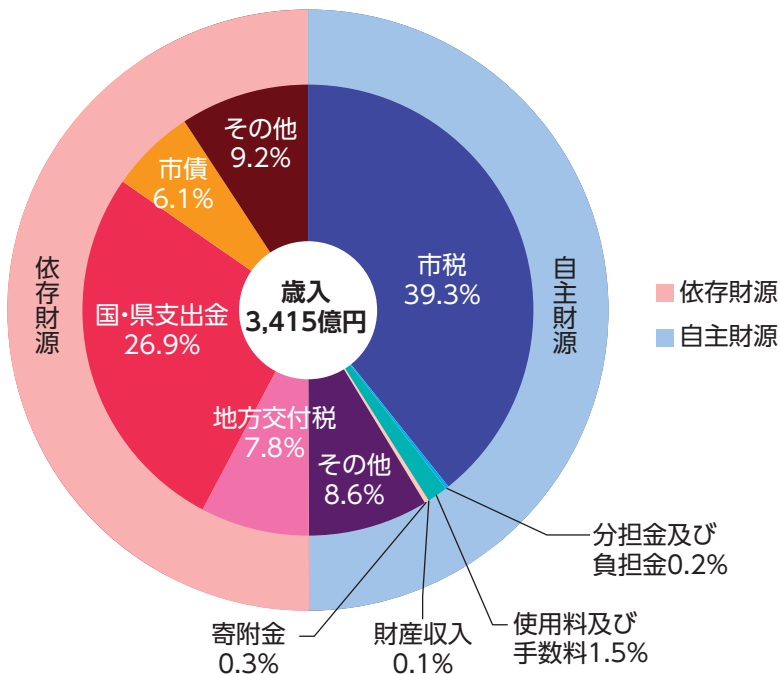
つづいて、市の収入である歳入について説明します。



Q 市の収入にはどんなものがあるの？

A 一般会計の歳入には、市税や国・県から交付されるお金、借入金（市債）、施設の使用料などがあります。

【一般会計歳入予算】



依存財源

地方交付税 266億円
皆さんが国に納めた税金の一部です。地方公共団体の財政状況等に応じて配分されます。

地方消費税交付金 160億円
皆さんが納めた消費税の一部です。一定の割合に応じて地方公共団体に交付されます。

国・県支出金 919億962万円
皆さんが国や県に納めた税金の一部が、特定の目的を達成するために地方公共団体に交付されます。

市債 209億2,220万円
事業を実施するために、国や金融機関などから借り入れるお金です。

自主財源

市税 1,342億円
皆さんから相模原市に納めていただく税金です。

分担金及び負担金 8億2,055万円
事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただいているお金です。

使用料及び手数料 49億9,684万円
市の施設の利用や証明書を発行する際にいただいているお金です。

財産収入 1億4,340万円
市が持っている財産の貸付けや売払いなどにより得たお金です。

その他 304億7,539万円
各種基金からの繰入金や繰越金、寄附金などです。



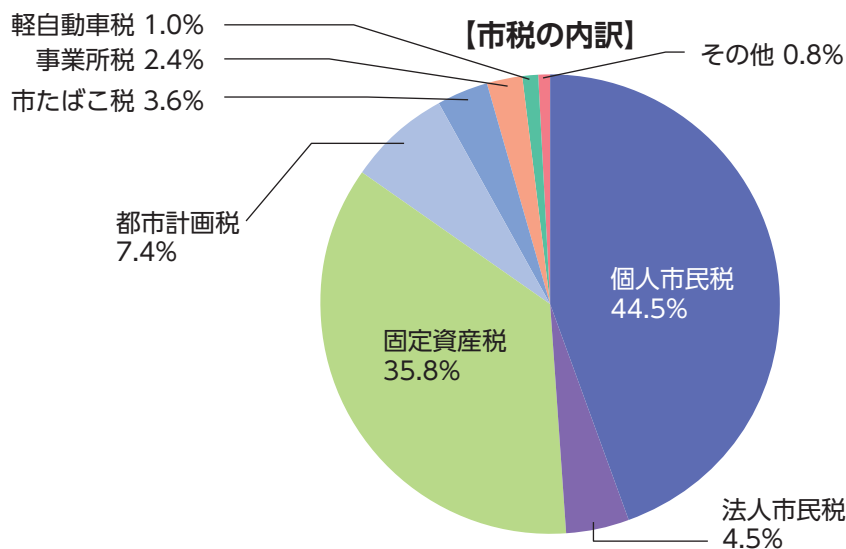
- ①歳入のうち、「市税」が最も大きな割合を占めており、全体の約40%となっています。
- ②「自主財源」とは、市が自主的に調達できる収入、「依存財源」とは国や県から交付されたり割り当てられたりする財源や市債のことです。「自主財源」の割合が大きいほど、財政は安定していると言えます。



Q 市税にはどのようなものがあるの？

A 相模原市の市税には以下のものがあります。

個人市民税	個人の前年の所得にかかる税	597億3,036万円
法人市民税	市内に事業所等がある法人にかかる税	59億5,975万円
固定資産税	土地・家屋・償却資産（事業用の機械等）にかかる税	480億5,864万円
都市計画税	市街化区域内の土地・家屋にかかる税	99億5,831万円
市たばこ税	たばこ製造者等が市内の小売販売業者に売り渡したたばこにかかる税	48億9,500万円
事業所税	事業所等における事業活動にかかる税	32億4,831万円
軽自動車税	原付・オートバイ・軽自動車などにかかる税	12億6,733万円



相模原市の市税の中では、個人市民税と固定資産税が多く、全体の80%以上を占めています。



Q 国・県からのお金は何に使われているの？

A 皆さんが国や県に収めた税金の一部が、道路や学校など特定の目的を達成するために地方公共団体へ交付され、普段皆さんが利用する多くの公共施設の建設や整備などに使われています。



ここ数年は補正予算での対応も含め、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策やワクチン接種、経済対策などに関しても多額の交付金が交付されました。

歳出

1年間の市の支出

歳出は、使いみちや目的によってさまざまな見方をすることができますが、ここでは『目的別』経費と『性質別』経費という2つの分類方法で説明します。



Q

どんな目的の歳出があるのですか？

A

福祉(民生費)、教育や土木などの目的の歳出があります。

目的別経費	当初予算額 (百万円)	一人あたりの 予算額(円)※	構成比 (%)
議会費 (議会運営などに要する経費)	1,009	1,393	0.3
総務費 (市役所の管理運営、広報、防災活動などに要する経費)	30,916	42,685	9.0
民生費 (子育て支援や高齢者・障害者福祉などに要する経費)	147,303	203,378	43.1
衛生費 (健康づくりの推進、ごみ処理、環境保全などに要する経費)	28,697	39,621	8.4
労働費 (勤労者福祉対策などに要する経費)	402	555	0.1
農林水産業費 (農業振興や林道の整備などに要する経費)	945	1,304	0.3
商工費 (商工業や観光の振興などに要する経費)	11,878	16,400	3.5
土木費 (道路、下水、公園、河川などに要する経費)	27,618	38,131	8.1
消防費 (消防や救急活動などに要する経費)	9,853	13,604	2.9
教育費 (学校教育、生涯学習などに要する経費)	55,864	77,131	16.4
公債費 (借金の返済などに要する経費)	25,808	35,633	7.5
その他	1,207	1,667	0.4
合計	341,500	471,502	100.0

※一人あたりの予算額(円)は、令和6年2月1日現在の人口から算出しています。



子育て支援や高齢者・障害者福祉などに要する経費である民生費が全体の40%以上を占めており、次いで、学校教育、生涯学習などに要する教育費が約16%となっています。

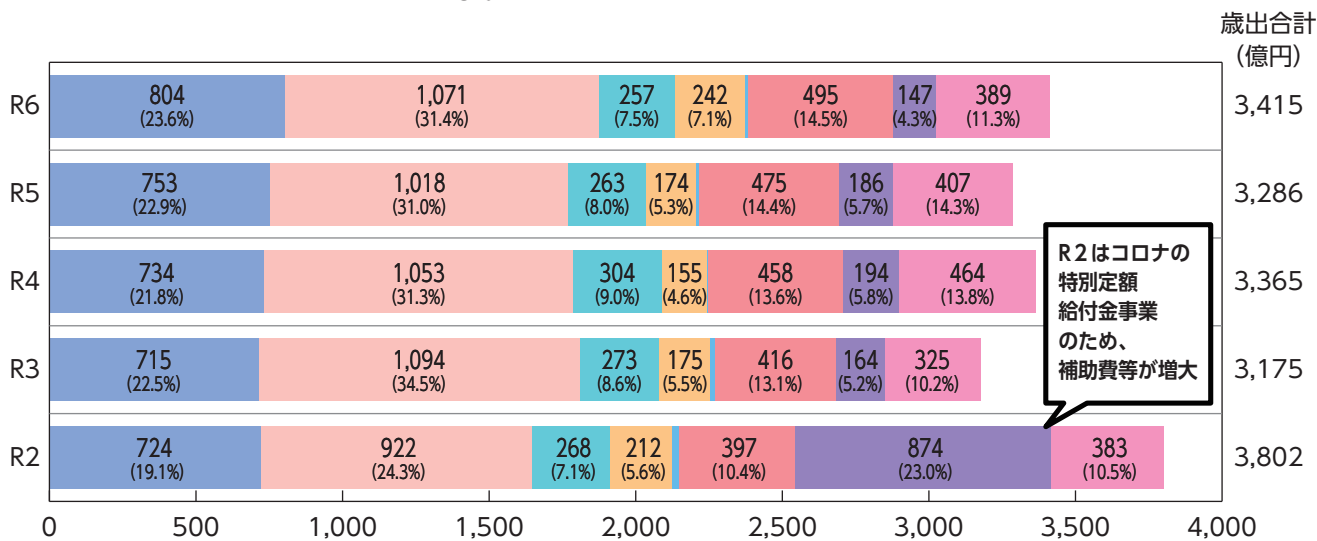
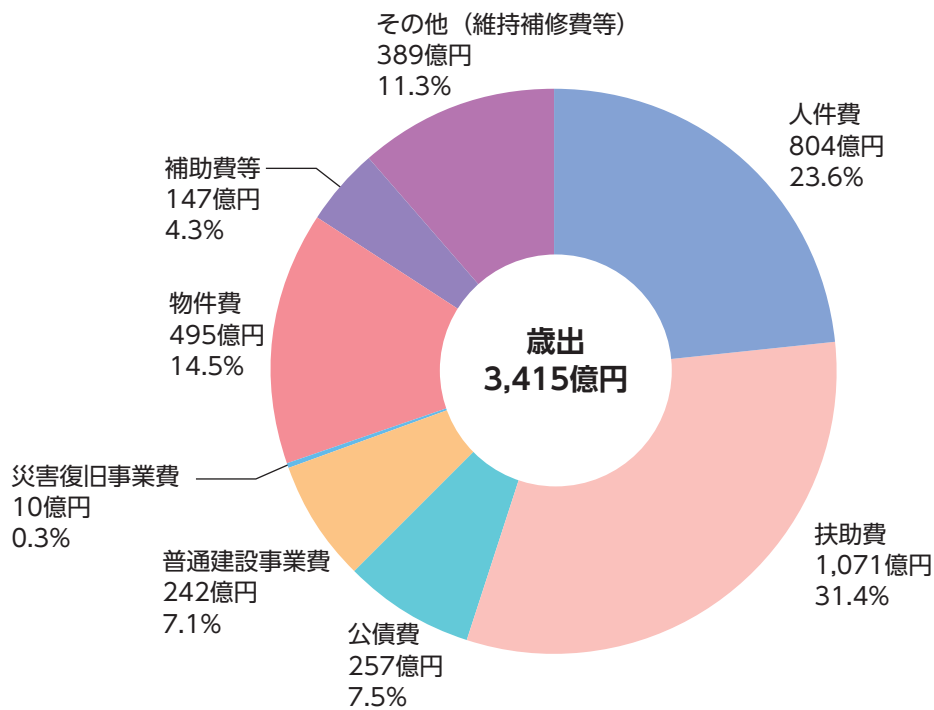


Q

相模原市の人件費はどのくらい？ 扶助費は？

A

歳出を性質別に分けると、人件費は全体の約24%、扶助費は約31%となっています。



R2はコロナの特別定額給付金事業のため、補助費等が増大

■ 人件費 ■ 扶助費 ■ 公債費 ■ 普通建設事業費 ■ 災害復旧事業費 ■ 物件費 ■ 補助費等 ■ その他 (維持補修費等)

※令和2年度から4年度は決算額、令和5、6年度は当初予算額で示しています。



① 扶助費の割合が高い

生活困窮者、高齢者、児童、障害者等に対する様々な支援を行うための経費。子育て施策や福祉施策において、市独自の取組を積極的に行ってきたことや、社会経済情勢の変化などにより、歳出全体に占める割合が大きくなっています。

② 投資的経費の割合が低い

市税収入の確保に繋がるまちづくりや道路などの整備に関する経費である投資的経費 (普通建設事業費等) の割合が少ない状態となっています。

令和6年度 相模原市の 主な取組

各分野の取組が関連するSDGsの主な目標（ゴール）を各項目に表示しています。



令和6年度は、本市の将来像の実現に向けて分野横断的に取り組み、特に重点的に力を入れる取組である「少子化対策」、「雇用促進対策」、「中山間地域対策」及び本市の個性を生かす分野として位置付ける「子育て」、「教育」、「まちづくり」の取組などに優先的に経費を計上しました。

【特に重点的に力を入れる取組】



少子化対策 7億2,980万円

主な取組

- ▶ 社会全体で子育てを応援する機運を高めるための「(仮称)子育て応援パスポート」の導入 166万円
- ▶ 小児医療費助成制度の対象を高校生世代まで拡大 1億7,242万円（拡大分）
- ▶ 理由を問わず日曜日などに児童を預けられる「さがみはら休日一時保育」の実施 3,224万円



雇用促進対策 7億6,718万円

主な取組

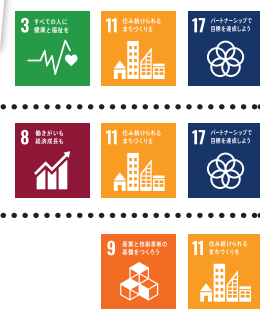
- ▶ 介護未経験の求職者への支援による人材確保や現職職員の定着促進 1,588万円
- ▶ 企業のデジタル化に向けた経営者・社員向けのスキル養成研修 863万円
- ▶ 株式上場などを目指す人材の創出に向けた起業家への支援 3,153万円



中山間地域対策 1億7,893万円

主な取組

- ▶ 高齢者や障害者の移動手段の確保・充実 6,420万円
- ▶ 移住・定住の促進に向けた相談体制などの充実や「お試し移住」のモデル実施 700万円
- ▶ 中山間地域の魅力発信拠点として「道の駅」設置の可能性の検討 800万円



【本市の個性を生かす分野】



子育て分野 10億7,122万円

主な
取組

▶安心して妊娠・出産できる環境の整備
環境の整備に向けた産後ケア事業の拡充 など 6,697万円



▶子育ての支援
「こども誰でも通園制度（仮称）」の創設に向けた
試行的事業の実施 など 27億2,041万円



教育分野 7億435万円

主な
取組

▶キャリア教育推進事業
社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を育む
キャリア教育の推進 1億719万円



▶学校給食の推進
中学校給食の全員喫食の実現（令和8年12月予定）
1億2,886万円



まちづくり分野 50億8,007万円

主な
取組

▶橋本駅周辺及び相模原駅周辺整備の推進
橋本駅周辺：6億6,793万円
相模原駅周辺：1億1,016万円
リニア中央新幹線開業を見据えた橋本駅周辺の区画整理や、
相模原駅周辺のまちづくりの検討 など



▶麻溝台・新磯野地区整備の推進 17億481万円
「産業・みどり・文化・生活」が融合した
新たな都市づくりを進める拠点となる市街地整備の推進



- ①脱炭素化社会の実現に向けて
気候変動の影響に対応するため、再生可能エネルギーの利用促進、省エネルギー活動の促進、脱炭素型まちづくりの推進と循環型社会の形成などの取組を加速化するための経費を計上しています。
- ②防災関連経費の拡充と市民のくらしの安全・安心の確保
令和6年能登半島地震の発生に伴い、防災関連経費の拡充を図ることや市民の暮らしの安全・安心を確保する観点から、公共施設などの長寿命化事業を着実に実施します。また、道路や公園等の維持管理に要する経費などを増額しています。



相模原市 財政状況

相模原市の財政の現状について、
各種データに基づき説明します。



Q 相模原市の財政は大丈夫なの？

A 借金が少なく、とても堅実な財政運営です！

健全化判断比率

地方公共団体の財政の健全性を判断するための指標で、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、公表が義務付けられています。

	令和4年度	早期健全化基準
①実質赤字比率	—	11.25
②連結実質赤字比率	—	16.25
③実質公債費比率	2.7	25
④将来負担比率	2.0	400

数値が早期健全化基準を超えると、財政再生に向けた取組をしなければなりません。

①実質赤字比率と②連結実質赤字比率は、赤字がないため「—」となっています。

実質公債費比率（③）は、1年間の借金の返済費用が収入総額に対し、どのくらいの割合なのかを示したものです。

将来負担比率（④）は、借金や買取りを約束している土地代など、既に将来支払うことが決まっている金額等を含めた事実上の総負債額が1年間の収入総額に対し、どのくらいの割合なのかを示したものです。

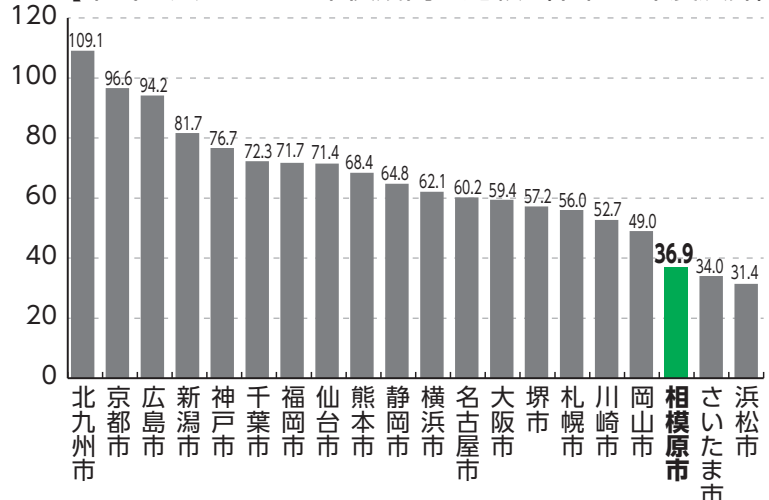
ともに数字が小さいほど、将来の借金の返済に対する負担割合が少ないということになります。

市債（市の借金）

相模原市の令和4年度決算時点の市債残高は2,652億円となっており、市民一人あたりの市債残高を他の指定都市と比較すると、相模原市は3番目に低くなっています。

※市民一人あたりの市債残高の比較については、他の団体との比較のため、普通会計決算の数値から作成しています。

【市民一人あたりの市債残高の比較（令和4年度決算）】





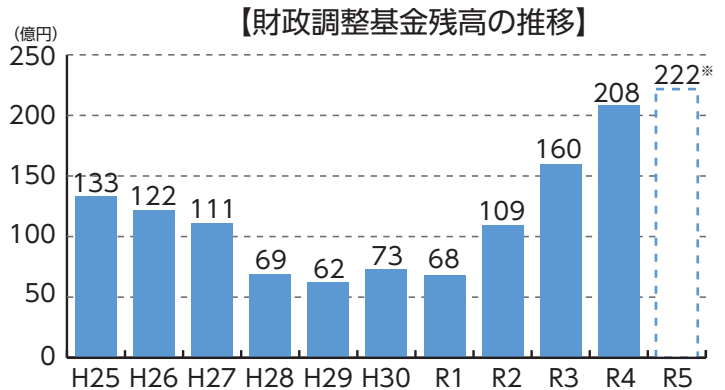
Q 市の貯金はどのくらいあるの？

A 市の貯金にあたる「財政調整基金」は令和4年度末で208億円です。

財政調整基金（市の貯金）

急にお金が必要になったり、収入が落ち込んだりしたときに対応するため、市でも貯金をしています。これを「財政調整基金」と呼んでいます。

※令和5年度の財政調整基金残高222億円（予算ベース）については、決算後に確定します。



Q 貯金があるのに、なぜ借金をするの？

A 皆さんも家や車を購入する時にローンを組むように、市も財政負担を年度間で調整し、他の事業ができなくならないよう市債（市の借金）を活用しています。
また、市債には、公共施設などを将来利用する市民の方にも負担してもらい、現在の市民の方と将来の市民の方における「負担の公平」を図るという役割もあり、必ずしもお金が足りないから借金をするわけではありません。

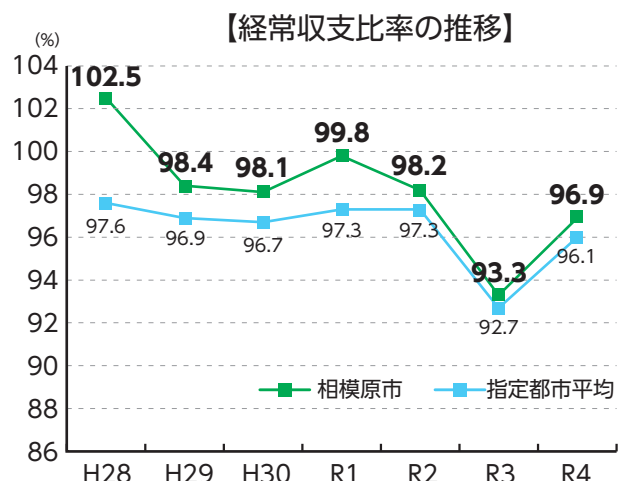
Q 貯金もあって、相模原市の財政は健全なんだね！

A いいえ、課題もあります。家計に例えると、毎月のお給料は固定経費（医療費や光熱水費、ローン返済など）にあてられており、自由に使えるお金はほとんど残らないような状況です。

経常収支比率

経常収支比率とは、財政構造の弾力性を判断する指標で、市税などの経常的な収入が通常の行政サービスに係る経費にどれだけ充てられているかをみるものです。比率が高いほど財政が硬直化しているということになります。

財政の硬直化が進むと新しい事業を見送る必要が出てきたり、急にお金が必要となった時に対応しづらくなったりします。



行財政 構造改革プラン

相模原市では、現在の健全な財政を
将来にわたり維持するため、
行財政構造改革に取り組んでいます。

相模原市の将来像「潤いと活力に満ち 笑顔と希望があふれるまち さがみはら」
の実現に向けた持続可能な行財政基盤を構築するため、令和3年4月に「行財政
構造改革プラン」を策定しました。

「行財政構造改革プラン」では、「歳出超過の解消」、「持続可能な行財政運営の
確立」、「経常収支比率の改善」を財政健全化の目標として、さまざまな取組を進めて
います。



行財政構造改革プラン

第1期（令和3～5年度）の取組

- ▶ 歳入確保に向けた取組
- ▶ 新たなまちづくり事業の選択と集中
- ▶ 既存の公共施設等の見直し
- ▶ 事務事業の選択と集中
- ▶ 政策決定プロセスの見直し
- ▶ 職員の意識改革、働き方改革 など



第2期（令和6～9年度）の取組

- ▶ 「特に重点的に力を入れる取組」・「市の個性を生かす分野」として優先的に
取り組むべき事業への優先的な予算配分
- ▶ 財政構造のゆがみの解消
- ▶ 財政健全化に向けた取組の更なる推進
 - ・ 扶助費を始めとする社会保障施策の見直し
 - ・ 「新たな日常」の構築に対応した戦略的な政策による税源の^{かんよう}涵養策
 - ・ 総人件費の適正管理 など



Q

「特に重点的に力を入れる取組」や「市の個性を生かす分野」ってなんだろう？



A

少子高齢化が進む中で、「都市と自然のベストミックス」などの相模原市の特徴を生かし、住みやすいまち、魅力あるまちとして、多くの人々に選んでいただき、将来にわたって発展を続けていくために必要な取組です。

- ▶ 特に重点的に力を入れる取組 「少子化対策」・「雇用促進対策」・「中山間地域対策」
- ▶ 市の個性を生かす分野 「子育て」・「教育」・「まちづくり」

※主な事業については、8～9ページをご覧ください。



Q

「財政構造のゆがみ」ってなんだろう？

A

相模原市のお金の使い方を「基準財政モデル」で分析してみたところ、土木費などの予算が十分に確保できていない可能性があることなどが分かりました。このような「ゆがみ」を徐々に解消し、バランスの取れた予算配分にしていくことで、将来にわたって安定的な財政運営を目指していきます。



※「基準財政モデル」については、14ページをご覧ください。



Q

社会保障施策の見直しはどんなことをするの？

A

社会保障にかけるお金は変えずに、これまで独自に行ってきた給付金事業などを見直しして、福祉人材の確保や施設の整備などの福祉基盤の整備に力を入れていきます。

Q

「税源の涵養^{かんよう}」ってどういうことだろう？

A

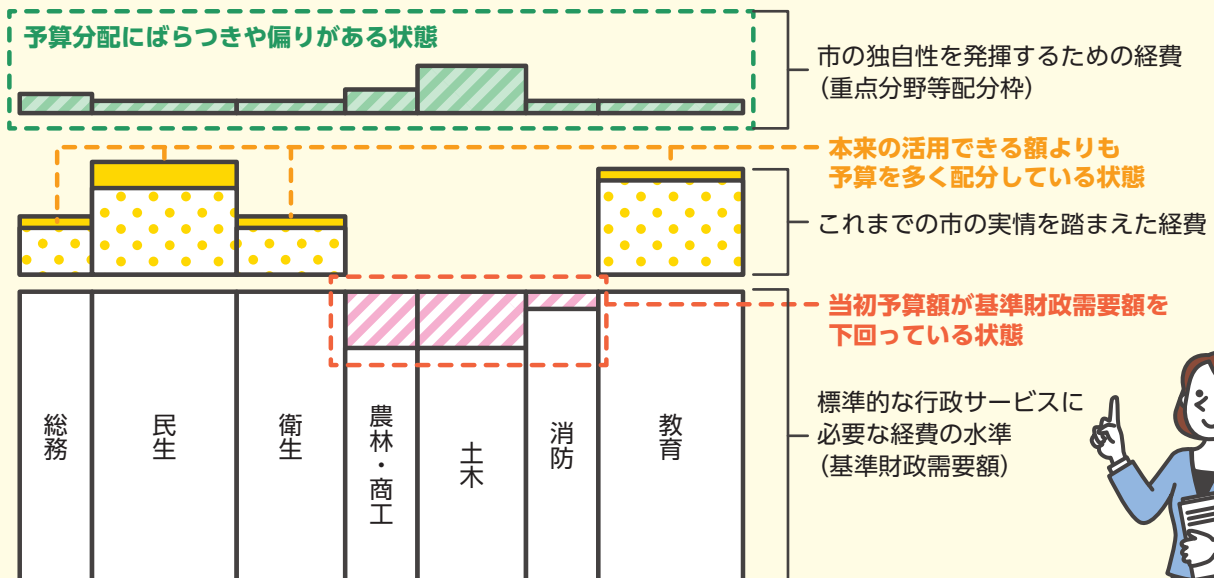
「税源の涵養^{かんよう}」とは、「安定的な税収の確保につながる取組を育てること」をいいます。相模原市では、市民の皆さんが収めた「個人市民税」が市税収入の多くを占めています。人口減少・少子高齢化が進む中で、多くの方に相模原市を選んでいただけるように、魅力的なまちづくりを進めていくことなどにより、将来にわたって持続的に発展し続けるまちを目指します。

「基準財政モデル」とは

目的ごとの歳出予算がそれぞれの程度必要かを調べるために、国の地方交付税の算定の考え方を基にして、相模原市が独自で作った財政モデルです。

令和5年度の当初予算を「基準財政モデル」で分析すると、土木費などが足りていない可能性があることや、重点事業の予算配分にばらつきや偏りがあることなどがわかりました。

5年度当初予算における市の財政構造（イメージ図）



相模原家 の家計簿

市の財政について、皆さんに身近に感じていただくために、市の予算を家計に例えてみます。相模原家を年収500万円（月41万7千円）として、市の予算を当てはめてみると…
主な財政指標を見てみましょう。

収入月額		家計
給与		34万7,000円
	基本給（市税）	16万3,900円
	諸手当（地方交付税等）	18万3,100円
家賃収入 （使用料、手数料など）		6,300円
貯金の取崩し （基金繰入金）		1万2,500円
生活資金の借入金 （臨時財政対策債）		5,800円
家の増改築の借入金 （建設債など）		1万8,800円
その他（諸収入等）		2万6,600円
収入合計（月額）		41万7,000円

支出月額		家計
食費（人件費）		9万8,000円
医療費（扶助費）		13万500円
ローンの返済（公債費）		3万1,300円
光熱水費、通信費、消耗品 （物件費）		6万500円
自治会費、習い事代 （補助費等）		1万7,900円
家、車の維持・修理代 （維持補修費）		5,800円
家の増改築 （投資的経費）		3万900円
その他		4万2,100円
支出合計（月額）		41万7,000円

～『こと はじめ予算事始』の作成にあたって～

江戸時代の中期、「この本を翻訳することができれば、日本の学問を変えられることができる」という高い理想と信念を持ち、オランダ語で書かれた解剖学の本の翻訳を、頼るべき辞書も無いまま手探りで取り組んだ初期の蘭学者（オランダ語で西洋の学問を学ぶ者）の苦勞が書かれている『蘭学事始』という書物をご存知でしょうか？

「予算」は、市民の皆さんに納めていただいている税金などがどのように使われるのかをまとめたもので、市民生活に密接に関わっています。また、「財政の健全化」とか「財政破たん」などという言葉もしばしば耳にされると思いますが、自分の暮らすまち

の財政が健全に運営されているかどうかは、まさに、市民生活に大きな影響を及ぼす重要事項です。

一方、専門用語や仕組みの複雑さなどから、市民の皆さんに予算や財政の中身を分かりやすく説明することはなかなか難しいことですが、相模原市の予算や財政状況を分かりやすく解説し、関心を持っていただくことによって、相模原が変わっていく、そんな思いをこめてこのパンフレットを『予算事始』と名づけました。

『予算事始』を読んでいただいて、一人でも多くの皆さんに「予算が身近になった」「相模原市の財政に興味をもった」と感じていただければ幸いです。

相模原市の予算や財政に関する詳しい情報は市ホームページでご覧いただけます。

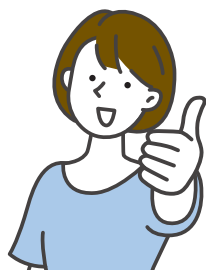
<https://www.sagamihara.kanagawa.jp>

【トップページ】⇒【市政情報】⇒【財政・債権管理】からアクセスしてください。

「宝くじ」のご購入は相模原市内で

宝くじの売上の約40%は、収益金として都道府県及び指定都市の収入となり、その収益金は販売実績に応じて配分されるので、市内の販売実績が増えると市の収益金が増え、皆さんの豊かな生活につながります。

宝くじを購入する際は、是非**市内**でお買い求めください！



令和5年度収益金
約**10億8,896万円**



ネット購入が便利です！

宝くじ公式サイトからも、宝くじを購入できます。

宝くじの購入から当選結果の確認、当せん金の受け取りまですべてネット上で完結します！ぜひご利用ください！

※宝くじ公式サイトでの会員登録の際の「購入者の登録住所地」が相模原市の場合、市の収入として活用されます。詳しくは、公式サイト (<https://www.takarakuji-official.jp/ec/>) をご確認ください。

令和5年度はこんなところで活用されています！

宝くじの収益金は、道路の整備や修繕、リニア中央新幹線の開業を見据えた都市基盤等の検討や協議、JR相模原駅北口の米軍との共同使用区域の一部を活用した「相模原スポーツ・レクリエーションパーク」の整備などに活用させていただきました。



西橋本1丁目交差点整備事業



相模原スポーツ・レクリエーションパーク

寄附で、あなたも市政に参加してみませんか！ 「暮らし潤いさがみはら寄附金」のご案内

POINT
01

寄附金は、あなたが指定した事業に活用されます！

市の事業のうち、幅広いメニューから使い道を選択いただけます。
使い道を指定しない「一般コース」も選択できます。

POINT
02

寄附金は、税金から控除されます！

2,000円を超える部分は税金から控除されます！（上限額があります）
つまり、税金の使い道を指定するのと同様の効果があります。

※寄附先の自治体へ「申告特例申請書」を提出することで確定申告を行わなくても寄附金控除が受けられる仕組み（ふるさと納税ワンストップ特例制度）の対象者は、ふるさと納税の寄附金控除を受ける目的以外で所得税や住民税の申告を行う必要がない方で、その年にふるさと納税をする自治体の数が5以下であると見込まれる方となります。

※相模原市の返礼品の受領は、市外に住民登録のある方に限られます。

【令和5年度 暮らし潤いさがみはら寄附金の実績】

ありがとうございます。

令和5年度寄附金額 約**6億7,088万円**

【寄附金の使い道の一部をご紹介します！（特設コースのご案内）】



図書館の本の充実



シティプロモーション推進事業



ツアー・オブ・ジャパン
相模原ステージ支援



どうぶつ愛護支援

皆さんの寄附金は、原則ご寄附いただいた年度の翌年度の予算の中で活用させていただきます。

詳しくは市ホームページ、パンフレットをご覧ください。か、財政課まで

広告

広告内容に関するお問い合わせは各事業所へ（パンフレットの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください）

おかげ様で設立50周年を迎えました

税理士会は、法律により資格を与えられた唯一の「税」の
専門家である税理士によって構成されています。

東京地方税理士会 相模原支部

住 所 相模原市中央区中央3-12-3 商工会館3F

連絡先 ☎ 042-759-0046（土・日・祝日は休み） URL <http://s-zei.org/>



Bank of Yokohama

Afresh

あなたに、あたらしく。

お客さま一人ひとりに、
最もふさわしい金融サービスとの出会いを、
あたらしく創りあげていきます。

横浜銀行



きらぼし銀行

<https://www.kiraboshibank.co.jp>